



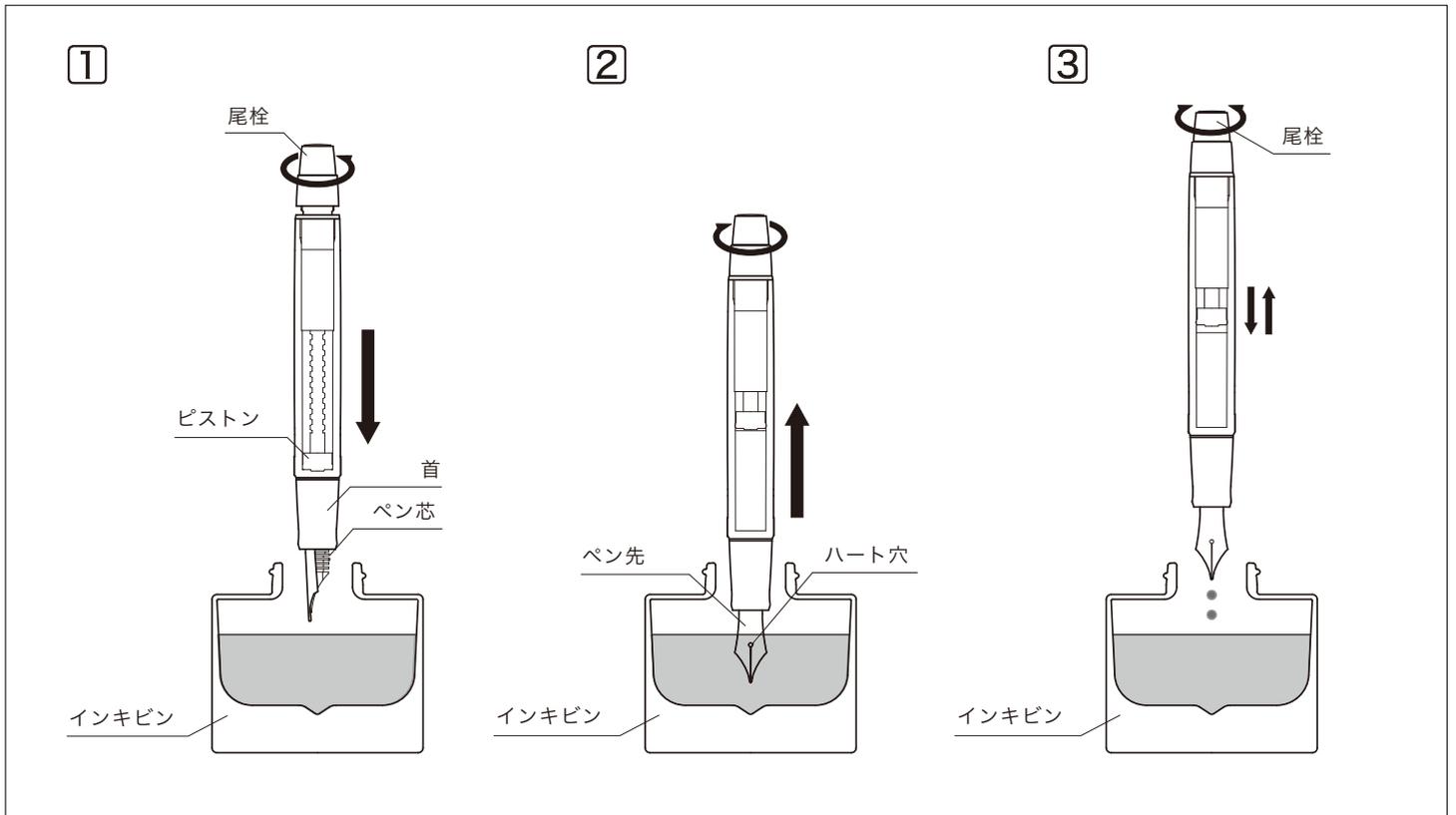
# S式万年筆のご使用方法

※ご使用前に必ずお読みください。

**PILOT**

www.pilot.co.jp

## インキの入れ方



### ■インキの吸入について

(1) 尾栓を止まるまで左へ回し、ピストンを下まで下げてください。

(インキが軸内に残っていた場合、ペン先からインキが噴き出すことがあります。インキビンの中へペン先を入れて尾栓を回すことをお勧めします。)

(2) ペン先のハート穴が隠れる位置までインキの中に浸けて、尾栓を止まるまでゆっくり右に回してインキを吸い上げてください。

(ペン芯が乾いている時は2~3回繰り返してください。)

(3) 尾栓を再び左に回し、インキをインキビンの中へ2~3滴戻し、再度、尾栓を右に回して閉めてください。

※ ペン先を上に向けて、ペン先や首部に付いたインキを柔らかい布または紙で拭き取ってください。

## お手入れと保管

- 高温、低温、直射日光を避け、お子様の手の届かないところに保管してください。
- 長期間ご使用にならない場合はインキを排出し、清浄な水で何度か吸入、排出して内部を洗浄し、必ず尾栓とキャップを閉めて保管してください。
- 本製品は精密な特殊部品を使用しておりますので、お客様ご自身での修理はなさらないでください。

## 注意

- 筆記以外に使用しないでください。
- 幼児の手の届くところに置かないでください。
- ペン先は鋭いので人体に触れないようご注意ください。
- 当社製の万年筆用インキをお使いください。また、故障の原因となりますので、沈殿物があるなど古くなったインキの使用はお避けください。
- インキの色を変えたいときは、清浄な水で何度か吸入・排出を繰り返して内部を洗浄してください。
- インキ色の違いや洗浄時の条件により、尾栓を回す重さが変わることがありますが故障ではありません。
- 機構部や軸内面には潤滑剤が塗られています。ピストンの位置にインキの付いた潤滑剤が溜まったり、濡れたように見えたりすること

がありますが故障ではありません。

- インキによる汚損を防ぐため筆記時以外は必ずキャップを閉め、又、インキの吸入・排出又は洗浄の操作を行うとき以外、必ず尾栓は閉めた状態にしてください。
- 気圧の変化によりインキのぼた落ちや噴き出しが起る可能性がありますので、航空機ではご使用にならないでください。
- 尾栓を左に緩め過ぎないでください。緩め過ぎると故障の原因となります。
- 本製品を落としたり、衝撃を与えたりしますと故障の原因となります。
- アルコールなどの溶剤を含む薬品等が付着しますと、ひび割れや変色することがありますのでご注意ください。